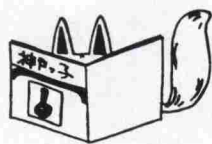


# 神戸の本棚



## 神戸デイズ&ナイツ物語

早坂久美子

少女のように常に不安を抱えて生きる主人公・桜子。何不自由ない結婚生活を送りながらも、彼女の心の中にはいつも「死」が隣り合わせていた。幼い頃の友達、死、阪神大震災での母の死、隣人の死……。美しい芦屋・神戸の街並を背景に、桜子の繊細なイマージュの世界を神戸出身の著者が描く。



文芸社  
1000円+税

## 百ある夢を

かなえんがため

美木剛

惜しまれながらも二〇〇一年二月に閉店した、関西料理界の最高峰、神戸・北



講談社  
1600円+税

野町のフランス料理レストラン「ジャン・ムーラン」そのオーナーシェフ美木氏が、自身の「その後」を綴ったエッセイ。あてもなく目指し、たどり着いた南フランス・グラーヌでの田園生活は、ひたすら美味しい自然、豊かな時間に満ちていた。朝起きて「さて、今日は何をしよう」と思索するゆとり、そこには「引退後」を考え始める四十〜五十代の夫婦のあこがれの暮らしがある。また、莫大なエネルギーを必要とした「ジャン・ムーラン」の閉店、美木氏が料理人となるまで、など関西の食通なら見逃せない内容。

## 天国のダンスパーティー

井芹史見代

望みを失わずに病と闘った夫は、二十回目の結婚記念日に力尽きた……。さまざまな治療による夫の病状の悪化、苦難の闘病、そして死別。悲運の別れから七年、悲しみを乗り越えた妻が天国の夫に捧げる感動の追憶。「夢の中でもいい、ラストダンスはあなたと……」天国の夫に捧げる本。



文芸社  
1200円+税

## 造られた三人の

偉人の実像

戸山靖一



文芸社  
1200円+税

冷戦の終焉によって「宗教」と「民族」がクローズアップされつつある二十一世紀初頭の現代。その中にあって、聖徳太子（日本書紀）、モーセ（出エジプト記）、イエス（福音書）を冷静に分析。説得力ある仮説を打ち出した一冊。

六甲山緑化100周年記念  
六甲山の100年  
そしてこれからの100年

神戸市発行



制作  
月刊神戸っ子

明治時代なかば、神戸市の水道事業の開始に先立って行われた、水源域の植林調査にあたり「水源域として世界に類を見ない」とまで酷評された荒れ果てた布引貯水池の水源域で、植林が開始されて100年が経つ。この六甲山緑化100周年にあたり、先人の偉業を深く記憶にとどめ、その緑の遺産を次代に引き継ぐ決意を新たにす。この記念誌の発刊が、六甲山の緑化と利用の経緯が広く知られる契機となり、また新たな資料の発掘につながることを願う。

★今月ご紹介いたしました本を抽選の上、読者のみなさまにプレゼントいたします。詳しくは、P112プレゼントメントメントをご覧ください。

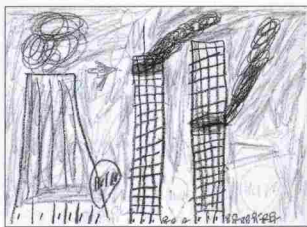
■著者インタビュー エクトル・シエラアーティスト

## クレヨンと画用紙と折り紙を持って 世界の子供たちのもとへ

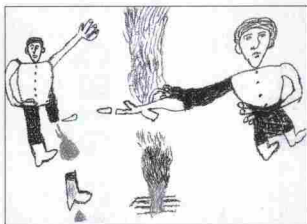
同時多発テロが起きたニューヨーク、長く続いた内戦と弾圧的なイスラム政府の支配のもとにあったアフガニスタンの町。そこに住む子供たちが描いた絵をまとめた『あの日のことをかきました』が出版され、子供たちの原画展が全国各地で開催された。神戸では北野Pocket美術館で開かれ、本の編者であるエクトル・シエラさんが来神。シエラさんは映像作家であり、芸術表現を通じて戦争犠牲者をはげましたり、世界で起きている紛争に関心を高めるためのワークショップなどを行なうNGO団体「国境なきアーティストたち」を主宰している。

——クレヨンで描かれたアフガニスタンの子供たちの絵は衝撃的でしたね。

アフガニスタンには学校が足りないんで子供たちは教室内にいっぱいでした。先生も少ないので、



ルーカス・チョン  
(7才・ニューヨーク)



ラヒマ (13才・カプール)



講談社 本体1500円(税別)

先生はひとつの学年の授業が終わったらその教室は自習にし、次の学年に走っていくのです。僕は学校に頼んで、その間にみんなと絵を描いたり、折り紙をしたりしました。先生が足りないんで学校側もすぐに許可してくれました。絵を描いたことのない子供がほとんどでした。

授業は宗教的教育です。「目には目を」というイスラム教の教えをもとにしたものです。そして「不寛容」ということ。破壊されたバミヤンの仏像もそうですし、日本とニューヨークの子供たちが装飾して片目を入れたダルマを、アフガニスタンの子供たちに目を入れてもらおうと持っていたのですが、イスラム教の偶像崇拜禁止に反するとして、それはかかないませんでした。

僕は昔、日本人の友人に「あなたの宗教は何?」と聞いたとき、たいていの日本人が「わからない」



エクトル・シエラ  
64年コロンビア生まれ。  
旧ソ連で映画を学んだ後、  
94年に来日。ユーゴスラ  
ビア・コソボ自治州を訪  
れ、NATO空爆に遭遇な  
きアーティストたち」を  
設立。

と答えるのがとても不思議だったのです。日本人はお寺にも神社にも行くし、クリスマスパーティーもするし、結婚式は教会で挙げます(笑)。今では、そういうことも、とてもいいことだなと思うようになりまして。

——「国境なきアーティストたち」の活動で、夢はありますか。

この団体が、もっと多くの人に知られるようになればと思います。それからこの団体をもっとしっかりしたものにして、参加してくれる芸術家たちを増やしたい。はじめに仲間になったのは沖繩のミュージシャンの喜納昌吉さんで、彼の沖繩でのライブに出かけ、アポイントなしでメッセージを送ったら、すぐにその場で参加させてくださいと返事があったのです(笑)。

今も世界各地で紛争が起きていて、僕が生きている間には、この世界中に平和が訪れることはないと思います。でも子供たちが大人になるころにはその夢もかなうかもしれません。そのためにこれからも世界中に出かけて子供たちと交流したいと思います。

(このインタビューは3月2日に行なった)

■国境なきアーティストたち

(ARTISTS WITHOUT BORDERS)

<http://www.artwlt.org>

# Un petit café de Kobe 2003 その②

男性も気軽に立ち寄れるカフェ

c o f f u q u é 小福

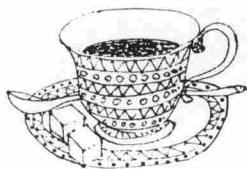
神戸市中央区海岸通4-3-17 清和ビル2F

TEL 078 (351) 5033

営業時間 営業時間 12:00 ~ 20:00

定休日 火曜

信時 哲郎



**カ** フェめぐりは若い女性のもの……一般的にはそう思われているようだ。たしかに白やピンクの内装で、店内では若い女性しかいないカフェで、男性がゆっくりお茶を楽しめるかというと、なかなかそうはいかない。

しかし coffee que は、そんな「バリア」を全く感じさせないカフェだ。女性と男性の比率はおよそ六対四。四十代から五十代くらいの男性もよく訪れるというから、これはイマドキのカフェとしては「異色の存在」だと言ってもいいかもしれない。

coffee que はパティシエの岡田真理さん(28)とバタンナーの福元陽子さん(30)が二〇〇二年三月にオープンした店。それぞれがカフェ部門と雑貨部門を主に担当してきた。開店一年目を迎えたこの三月、雑貨部門が新しく coffee que shop (海岸通4-4-5 定休日は第一、三水曜)をオープンし、女性向けが多かった雑貨の多くがそちらに移動したため、カフェはますますユニセックスの度合いが強まったようだ。今まで雑貨スペースだった場所には、東南アジアで公開された日本映画のポスター(キッシュで



もしろい)をはじめ、少年ゴコロをくすぐるアイテムが満載。

カフェスペースはページュとこげ茶色を基調にした落ち着いた感じで、インテリアは、以前、ここでカフェをやっていた人が使っていたものや、ユースドもの、自分たちで作ったものを使っているため、お金はあまりかかっていないのだという。しかし、これがなかなかシックにまとまっていて、若者男女を問わず、くつろげる感じになっている。アートスペースとしての貸し出しもしているので、作品によっては店内の雰囲気もだいぶ変わるのだそう。

現在のところフードメニューは置いていないが、それはカフェ部門の切り盛りを、アルバイトの手も借りずに岡田さんだけでしているためで、一人ではなかなかそこまで手が回らないのだという。

「この一年間、カゼをひくヒマもないほど忙しかったけど、別に苦痛じゃなかったです。ここでこうしているのが自分なんだと思うから……」

「カフェは好きじゃないとできない仕事だ」とは、よく聞く言葉だが、肯定的に言い換えてみると、「カフェは好きならばできる仕事だ」ということになる。

岡田さんの周りも、一年前は反対する人ばかりだったというが、「悩み出したらきりがなし、いつまでたっても何もできない。自分にできそうなことは、まずやってみよう。」そう思って出店したのだという。

そして一年後。カゼをひくヒマもないほどカフェに情熱を注いだおかげか、今では彼女に意見する人はいなくなった。しかし「頑張っているという感じを、お客さんに見せてしまっはいけない」と

思う」と割り切れるところがプロフェッショナル。強い意志。そしてそれを気付けさせない懐の深さ。この二つが静かに調和しているのが coffee que の魅力であり、幅広い層から支持される理由でもあるのだろう。

ブレンドコーヒー 400円  
ストリートティール 500円  
ビール 500円  
ケーキ各種(モンブラン、プリマ・ヴェーラ、ペイクド・チーズケーキなど) 500円



▲パティシエの作ったケーキは、このディスプレイ・ウィンドウの中に並ぶ

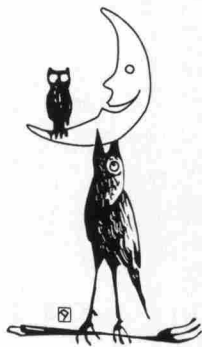


▶ co-fuqueに辿りつくには、まず清和ビルの前にあるこの看板を見つけること



のぶとき てつろう

63年神奈川県横浜市生まれ。神戸山手大学人文学部環境文化学科で宮沢賢治や都市と文学について教えている。



シェフのひらめき！  
これぞ食べる喜び

レストラン「Peck」

ここのお店のコース料理は、まずスープからちがうのよ…と、ある人の紹介でランチ（1500円）をいただいた。その日は野菜ときのこがたっぷりのスープ。オーナーシェフ・藤田さんのオリジナルなので名前はない。メインの魚料理、自家製のパン、デザート、このお値段とは思えないほど手の込んだコースだった。食材の仕入れは、いつも中央市場におまかせだとか。



藤田シェフと、美しい奥さまの  
お人柄のファンも多い

その日いちばんの新鮮材料を目の前にして、藤田シェフが腕をふるう。藤田さんは若いうちからいろいろな厨房をわたり歩き、自分だけの料理をものにした。だからメニューのほとんどに名前のないオリジナルメニュー。「ソースももちろん思いつきで：いやいや、ひらめきのソース。常連さんはおまかせの方が多から、お客さまの顔を見て、今日はこんなのをお出ししよう、と決めるんです」と藤田さん。奥さまと店をきりもりし、休憩時間には2人でお料理を食べながら過ごす。作ることも食べることも大好きなお2人。

カキ料理（1200円）にもファンが多い。丹後、三陸から生きたカキを直送。殻つきで出てくる。ノルウェーサーモンや牛タン、鴨肉、タコやホタテなどの自家製スモークも人気で、テイクアウトもできる（800円）。



グリーンに囲まれた店先

ディナーコースは2500円。シェフおまかせコース料理は5000円。おすすめのスTEEキ&シーフードコースは4500円。自然酵母を使った自家製パンも好評。

■Peck

神戸市中央区山本通5-1-35

グランドセゾン諏訪山

(のじきく会館向かい)

☎078-136012322

ランチ11:30~15:00

ディナー17:30~22:00

第1・3火曜休

元タカラジエヌのママ  
とアットホームに  
Barスナック

「Casanova」

昨年8月にしたBarスナック「Casanova」。ママは宝塚歌劇団OGの馬淵しげのさん。さすが！美しいママ。「歌って踊って楽しいお店ですよ。たまに私もふざけて踊ったりするんです」と、プロの歌、ダ

ンスが披露されることもあ  
るらしい。馬淵さんの伯母  
さんで、イタリアに27年在  
住していた陽気な津谷鹿代  
子さんのお人柄もあいまっ  
て、アットホームなお店。  
女性でも気軽に行ける雰囲気だ。馬淵さんの妹で、オリ  
ンピック出場経験もある  
元飛び込み選手・馬淵よし  
のさんも、たまに手伝いに  
来られているとか。

もともと馬淵さんのお祖  
母さんが、同じ場所でも「カザノバ」を経営してい  
て、3代めにあたる。「お  
客さまは20代〜70代と幅  
広く、親子2代で来てくれ  
るお客さまもいらっしゃい  
ます。みんな友達といった  
雰囲気です。気軽なお店だ  
す！」。セット料金300  
0円。ボトルキープ700  
0円。

■Casanova

神戸市中央区北長狭通3-1-14

ツタニビル2F

☎078-133110105

18:00~0:30

日・祝日休



津谷鹿代子さん  
馬淵しげのさん(右)(左)

あの美<sup>よし</sup>丁の味が——  
和菜・鉄板焼「あきつ」

神戸サウナの西隣りのライトハウスビル。1階はA-1ステーキ、その2階に、和菜・鉄板焼きの「あきつ」が4月14日にオープンした。黒いシックな扉を開けると、ママの野田真弓さんがきもの姿に白いエプロン。美しい真弓さんのもてなしと、姉の慶子さんが、有名な福原のお好み焼き「美<sup>よし</sup>丁」に16年勤めたベテランの腕で、鉄板の前で手際良く料理するという、姉妹コンビで家庭的なお店だ。カウンターとテーブル席がある。



野田さん姉妹が出迎えてくれる。右が慶子さん、左が真弓さん。



ふわふわのたまご焼き

焼いたお豆腐つきのコロコロステーキ・肉野菜(1300円)、焼きそば(650円)、砂ずり炒め(600円)、若竹、煮魚、肉じゃがやひじきとすじの炊合せなど、日替わりの小鉢ものなどもある。お酒は、生ビール(450円)、菊正宗(1合400円)、焼酎、ワインなど。すべてがリーズナブルなものも。野田姉妹のお人柄もよく、神戸っ子らしい明るさやさしさに、心が癒される。  
■あきつ  
神戸市中央区下山手通2-21-9  
ライトハウス2F  
(神戸サウナ西隣り)  
☎078-1332-10373  
17:30~0:00  
不定休(定休日検討中)

★イベント情報  
本願ゆかり&志賀敏哉の  
特別カフェレッスン開催



志賀敏哉先生



本願ゆかり先生

磯上の人気カフェ「Battery CAFE」で、料理研究家・本願ゆかりさんと、アートディレクターであり神戸でバーも経営している志賀敏哉さんを招いて「カフェレッスン」を開催する。他にない自分だけの料理を作りたい人、ワインをもっと楽しみたい人や、初心者にもやさしいレッスン。

本願さんのレッスンは「ハーブのお話&ハーブッキング」。ハーブの効用や、使い方のお勉強をした後は、本願流ハーブ料理をデモンストレーション形式で紹介。レッスン2は「志賀流ワインのススメ」。ぶちワイン通になれるワインの知識、バーオーナーならではの



レッスンのハーブ料理とワイン。おしゃれなメニューが私のものに

の視点でワインの楽しみ方を教えてくれる。習った料理と、ワインは、レッスンの後でもちろん試食できる。こののために用意される「Battery CAFE」オリジナルドリンク、デザートもいただけるかと!  
●開催日時  
6月7日(土) 15時~18時頃  
●場所  
神戸市中央区磯上通5-1-26 (各線三宮駅から南へ、磯上公園北側)  
078-262-9575  
●料金  
4200円(税別)  
●申込み方法  
●右記の電話かFAX(078-262-9535)、店頭いずれかまで。先着順で定員40名程度。

# イベント スケジュール 2003.05

## ART

### 渡辺信子人形サロン展

5/10(土)～14(水)  
10:00～17:00  
ラインの館(異人館・北野通)  
☎078122213404



生前の小磯良平も愛し、描いた渡辺信子のエキゾチックな人形たち。14年ぶりに、神戸・北野の異人館「ラインの館」で展覧会を開催する。洋服はもちろんのこと、顔や手足などもすべて手作り。洋服の生地は江戸・明治・大正時代の古い布を使い、西陣織の金糸や銀糸、アンティークビーズの刺繍など、細かい部分まで丹精込めて作られた人形たちとともに、人形の世界に合わせ、演出された展示室の装飾などにも注目してほしい。

### 寺門孝之展 「闇の妹」

4/26(土)～5/9(金)  
11:00～19:00  
(火曜)～18:00/最終日(17:00)  
ギャラリー島田(ハーター1階)  
☎078126218058

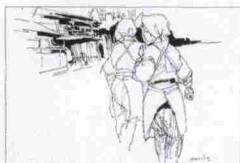


「雨とじゅじゅ」(2002年)

「龍」をモチーフとした新作や、デッサン、てらびかおなじみの「天使」も含めて、神戸では約2年半振りの展覧会。  
謎に包まれた闇の妹：の世界が開封される。

### 神戸市立小磯記念美術館 企画展 「小磯良平・挿絵 原画特集」

4/18(金)～6/29(日)  
10:00～17:00  
月曜休館  
(5/5開館 5/6休館)  
一般200円 高大生150円  
神戸市立小磯記念美術館(六甲ライナー「アイランド北口」駅下車)  
☎078185115880



川端康成著「古都」第40回挿絵原画(1961年)

昭和36年から朝日新聞に掲載された川端康成の「古都」、昭和16年に大阪毎日新聞に掲載された石川達三の「風樹」など、作品に寄せた小磯良平の挿し絵原画を展示。収蔵作品展Iを同時開催。

## MUSIC

### 摩耶はるこコンサート 「神戸 悠久の友へ」

5/23(金)19:00開演  
神戸新聞松方ホール  
(J-R「神戸」駅徒歩5分)  
前売一般S席4000円/A席2500円(当日は+500円)全席指定席  
☎078136217191(松方ホールPG)



摩耶はるこ

神戸を中心に活動を続ける歌手・摩耶はるこが神戸市民をあげまし、勇気づけるキャンペーンソング「神戸 悠久の友へ」を作詞・作曲。CDの収益は、NPOやNGO団体を支援する特定公益増進法人「しみん基金こうべ」に寄付される。5月のコンサートでは同曲とともに、「すべての人に愛を」や、神戸を舞台に

した歌などを披露する。

### 市民映画劇場5月例会 「BARに灯ともる頃」

5/16(金)17(土)  
11:00/13:30/16:00/19:00  
前売一般1300円  
(当日1500円)  
神戸朝日ホール  
(大丸から東へ50m)  
☎078133118538  
神戸映画サークル協議会



イタリアを代表する国際派俳優マルチェロ・マストロヤンニと、ナポリ喜劇の後継者として広くイタリア国民に愛されていたマッシモ・トロイージが共演した本作は、89年ヴェネツィア映画祭で2人同時に主演男優賞を獲得した。

兵役中の息子を訪ねて、ローマから父親がやって来るはすれ違つてばかりいたが、たがいの近況を報告しあいながら少しずつ打ち解けていく。エットーレ・スコラ監督が描くイタリア庶民の「あったかさ」は、私たちの胸に暖かな灯火のような感動をもたらす。

# ●ライブハウス・スケジュール

## ■チキンジョージ

TEL.078-392-0146

- 3(土) プロバガンダの宴Vol.3  
 9(金) eastern youth  
 10(土) DASEIN  
 11(日) 想飛  
 14(水) DAVID LINDLEY & WALLY INGRAM  
 18(日) 因数分解vsMARINO  
 19(月) フィル・ウッズ  
 20(火) BUMP OF CHICKEN  
 22(木) ARB  
 23(金) WHAT IS HIP  
 26(月) HY  
 29(木) 織田哲郎  
 30(金) DOUBLE TROUBLE  
 31(土) DIMENSION

## ■ピアジュリアン

TEL.078-391-8081

- 1(木) 折川真理(vn)中元智子(p)  
 2(金) 田中希美(vo)近藤美香(p)  
 3(土) ホルントリオ 二宮あや  
 4(日) 奥野香織(p)  
 5(月) 重水由紀(vo)辻本恵子(p)  
 6(火) 田中郷子(vo)西奈央子(p)  
 8(木) 高橋乗子(vo)近藤美香(p)  
 9(金) 本吉優子(vn)田中靖子(p)  
 10(土) 辻本恵子(p)  
 11(日) リリィメイ  
 12(月) 山内尚子(p)  
 14(水) ゆうきしゅん  
 15(木) 龍智子・近藤美香(p連弾)  
 17(土) 中鼻佐和(vn)上田裕子

(p)

- 18(日) 金澤佳代子  
 19(月) 小笠原薫(vn)山内尚子(p)  
 20(火) JAZZ原田紀子 松田忠信 中山良一  
 21(水) 武村美穂子(fl)  
 22(木) 近藤美香(p)  
 23(金) 西本淳(sax)鈴木華重子(p)  
 26(月) 小笠原薫(vn)山内尚子(p)  
 28(水) 小村亮三・飯山友子・藤深優子(vo)  
 29(木) 辻香織(perc)西本淳(sax)  
 30(金) 鈴木華重子(p)

## ■Holly's

TEL.078-251-5147

- 1(木) 渡辺久美子(vo)西脇裕幸(p)  
 2(金) 吉本章絃カルテット  
 3(土) 雨宮千晶(p&vo)  
 4(日) HANNY(vo)原田耕自(p)川野裕也(b)中島要(d)  
 5(月) 池田奈央(p)沖田守男(b)野口和生(d)  
 8(木) 大内玲子トリオ  
 9(金) 長井美恵子(p)若林美佐(b)若高あつし(d)  
 10(土) 河野美紀(vo)奥村美里(p)坂崎拓也(b)樋口広大(d)  
 15(木) 根来正幸(g)他  
 16(金) HAWAIIAN ハレクラニ BOYS  
 17(土) まきを組ゴスベル  
 22(木) ラテンポップス"BBB"  
 23(金) CHOKAMI IT !!

- 24(土) 畑山紀美代(vo)杉本亨(p)折井章吾(b)中島要(d)

## ■イエローリボン

TEL.0798-34-2872

- 1(木) くまごろう  
 2(金) Hit Parade  
 3(土) HAWAIIAN ハレクラニ BOYS  
 4(日) ミキ&テネシーウィングス  
 7(水) カントリーダンススレッズ  
 8(木) くまごろう  
 9(金) アドベンチャーズ  
 10(土) シン上田&Trackers  
 11(日) Liverpool  
 16(金) Daddy Boys  
 17(土) Kentucky Gamblers  
 18(日) Wood Stock Band  
 23(金) 45RPM  
 24(土) Fool's Silver  
 25(日) Surf Rider  
 31(土) Stampede

## ■萬屋宗兵衛

TEL.078-332-1963

- 4(日) YA13(JAZZ)  
 10(土) Five Brothers(JAZZ)  
 11(日) 朱恵仁&内山陽太  
 15(木) 向原千草trio  
 16(金) Hiroyuki Miyashita Original Live  
 17(土) オノベッツII  
 21(水) 山下幸江(vo.p)三宅彰王(g)時安吉宏(b)中岡憲永(d)  
 24(土) 湯田カルテット  
 25(日) 理由あり家族

- 30(金) Into another orbit.N.S. TRIO

- 31(土) 辻佳孝トリオ  
 6/1(日) 井上祐—standin'out li ve

## ■SONE

TEL.078-221-2055

- 1(木) 新井雅代  
 2(金) 大越理加  
 3(土) 北荘桂子  
 4(日) ロイヤル・フラッシュ・ジャズバンド  
 5(月) 新井雅代  
 6(火) ベティ鞍富  
 7(水) 片岡学 辛島寿美子  
 8(木) 宮野英子  
 9(金) 北荘桂子  
 10(土) 新井雅代  
 11(日) 鍋島直飛 宮野英子  
 12(月) 大越理加  
 13(火) 橋本裕  
 14(水) ホンビ柿本  
 15(木) 古谷充クワルテット  
 16(金) 辛島寿美子  
 17(土) ベティ鞍富  
 18(日) 大塚善章 新井雅代  
 19(月) 北荘桂子  
 20(火) キャンディー—浅田  
 21(水) 新井雅代  
 22(木) 北荘桂子  
 23(金) 新井雅代  
 24(土) 大越理加  
 25(日) 日高典雄  
 26(月) 北荘桂子  
 27(火) 大越理加  
 28(水) 岩宮美和  
 29(木) 長谷川元伸 大越理加  
 30(金) ベティ鞍富  
 31(土) 新井雅代

い。2795「月刊神戸」子チケッ  
 プレゼント」係までお送り下さ  
 中央区下山手通21313 神戸市  
 名電話番号④今月号の感想を書  
 るチケッ(劇場名)②住所・氏  
 名③電話番号④今月号の感想を  
 書いて〒65010011 神戸市  
 中央区下山手通21313 3創刊ビ  
 2795「月刊神戸」子チケッ  
 プレゼント」係までお送り下さ

※ 応募方法

ハガキかファクシミリで①希望す

るチケッ(劇場名)②住所・氏

名③電話番号④今月号の感想を

書いて〒65010011 神戸市

中央区下山手通21313 3創刊ビ

2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

い。2795「月刊神戸」子チケッ

プレゼント」係までお送り下さ

## 愛読者チケッ プレゼント

★神戸市立小磯記念美術館

開催中 6/29(日)「挿絵原画

展」ペア5組

★市民映画劇場6月例会「鬼が来

た」(6/20・21)ペア3組

★映画館招待券

★バルシネマシムこうえん(湊川

公園)2名

5/10/19「モンスーン・ウェディ

ング」19「サササのレシビ」▽

5/20/5/4「至福のとき」

7/5/4「たそがれ清兵衛」▽6/5/13

クライング・ゲーム」ディナイ

●ペレシネマ(西区)ペア5

4/19/5/9「クレヨンしんちゃ

ん」▽4/19/5/23「名探偵コ

ナン」▽5/10/6/13「あずま

▽5/24/6/6「刑務所の中」

▽5/24/6/6「祝怒」

●新劇会館シネマ1(新開地)ペ

ア5組

4・26/5/9「K19」▽「ギャ

ング・オブ・ニューヨーク」▽5

/10/5/23「ブラッド・ワイク」

「オールド・ルーキー」▽5/24

/6/6「ラスト・キャスル」

「ボーン・アインデット」

●シネマザイク(ヘーバランド)

2名

10/5/3「X1MAN2」▽5/

5/3「あずま」▽5/中句/「サ

ラマング」▽5/中句/「8M

ルゲ」▽6/14/「スパイ・ゾ

ルゲ」



ポケットジャーナル



★書家・井茂圭洞先生  
日本芸術院賞受賞

芸術活動で顕著な業績があった人に贈られる日本芸術院賞を、今年度書家の井茂圭洞氏（66歳）が受賞された。受賞対象となった作品は「清流」（01年日展）。受賞式は6月2日日本芸術院会館（東京・上野）で行われる。まさに神戸の誇りである。



井茂圭洞先生

★おめでとう安田蓮美さん  
兵庫県若人の賞受賞

本誌でも以前紹介した安田蓮美さんが、このたび若人の賞を授与された。若人



安田蓮美さん

の賞は、昭和60年の国際青年を記念し創設されたもので、豊かな創造力とかきりない情熱をかたむけながら、地域活動やボランティア活動、文化や国際交流活動などに積極的に取り組んできた青少年に顕彰される。蓮美さんは障害を克服し、舞踊を通じて多くの人々に勇気と希望を与えるとともに、手話ボランティアに意欲的に取り組むなど、福祉の向上に貢献したことが評価され、今回の受賞となった。これからも素晴らしい活動が展開されることを願う。

★神戸に春を告げる

インフィオラータ2003開催中  
毎年恒例となったインフィオラータが、7回目を迎える今年も市内6会場で開催される。北野坂・北野町広場では、4月26日（土）～28日（月）に「花と緑を増やす運動」のシンボルイベントとして、12枚の巨大な花絵のほか、コンサートやライトアップなど様々な催しが予定されている。

湊川商店街すきっぷ通り  
4月25日～28日。垂水・舞子（シーサイドホテル舞子ビラ神戸内）5月2日～4日。六甲アイランド（リバーモール公園内）5月3日～5日。

■問合せ・国際観光コンベンション協会 TEL078・303・1010



花絵の制作にも参加してみよう

誕生日  
ありがとう  
運動



オンブズマン

昨年秋の誕生日フェスタの「はなす」で、オンブズマンの発表を設けました。言葉で話すことは殆どないハンディキャップの重い健二さんですが、何かしている時の表情はいきいきしています。

健二さんの思いを少しでも理解し人に伝えられたら！ということ、流通大の学生さん四人で健二さんのかかわりが始まりました。かかわる毎に、健二さんを通して学生さんが教えられ課題も多く持つようになってきた。

四月からハンディキャップのある人の福祉制度が変わりました。今までの「措置」から利用者の意思を尊重し利用者が選べる支援費制度です。

健二さんたちの思い・声も十分届くようオンブズマンも必要、そして誰もが地域で共に生活していけるよう、制度に期待し充実を願っています。

U  
誕生日ありがとう運動本部  
〒650・8790 神戸市  
中央区中町通4・2・11村  
上ビルB1  
TEL&FAX 078・3  
60・12557

★神戸華僑歴史博物館  
リニューアルオープン

一九七九年十月に開館して以来、神戸における中国文化の発信拠点として、また、国際都市神戸ならではのユニークな文化施設として名高い神戸華僑歴史博物館が、この春リニューアルオープンした。近年、華僑に関する研究も一段と深まり、日本における華僑社会にも大きな変化が見られるようになった。それにともない、展示の見直しをし、以前にも増して充実した内容となっている。神戸華僑の生活と活動について、美術品から生活用品まで貴重な文物、文献、資料を展示し、一般にはあまり知られていない華僑の世界を垣間見ることが出来る。神戸の華僑が自ら運営にあたる、世界的にも珍しい博物館。中国人と日本人との交流の足跡をたどってみたい。



新館長王柏林さん

■神戸市中央区海岸通3・1・1 TEL078・331・3855 開館10:00～16:00 水曜日定休

★第4回アートギャラリー  
萩舎ファッションショー  
〈和布で語る百人一首〉



古い良いものを新しい感覚で

5月3日(土)、神戸市立須磨離宮公園において、アートギャラリー萩舎による和布リメイク・着物によるファッションショーが開催される。今回のテーマは、百人一首をイメージした衣装で、日本の伝統的な素材である絹・木綿・麻などで表現した50組あまりの作品が登場する。公演は1時からと3時からの2回。雨天の場合は4日に順延される。萩舎は、店長岡宗小夜美さんと神戸の主婦が集まって、「古いものを大切にしたい」…そんな思いから始めた「古いもの」のお店。神戸の町外れ、田んぼにかこまれた古い民家に、少しだけ手を加え毎週木曜日から

日曜日営業中。お値段も本格的な骨董屋よりずっとお得。ぜひ一度立ち寄られて見てはいかが。

■アートギャラリー萩舎

神戸市西区平野町黒田323  
TEL078・9661・0015

<http://www.hagiya.net/>

★「川柳色紙展」の開催

川柳は人間の心のうた

五・七・五で喜怒哀楽を

表現する川柳の世界。さあ笑ってください。泣いてください。期間は6月1日(日)午後5時から、6月29日(日)午後3時まで。トアロードの広東料理「悠苑」にて、時実新子さんの「川柳大学」ゼミナール、阪神ゼミ・夙川ゼミ・神戸ゼミの主催で、40点の川柳色紙が展示される。

喜びと悲しみの傘

すれ違ふ 俊和

逢いにゆく列車は春の

海に添う 美津子



神戸ゼミの  
吉田利秋さん

母という不思議な人が  
胸に住む 文擴

「悠苑」のおいしい中華料理を食べながら、川柳も味わってみよう。「悠苑」ではオーナー周さんの厚意による、月替わりのギャラリー展が開催され好評だ。ぜひ利用してみたい。

■神戸市中央区下山手通3・11・17 TEL078・331・7777月曜日定休

★夢・感動・興奮…

内田三宮店阪神タイガース  
コーナーオープン



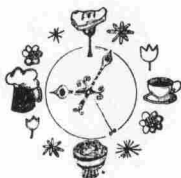
僕は濱中選手の大ファンや!

人形の内田が3月28日、三宮駅前サンシティビル1F「夢ランド内田」に阪神タイガースコーナーをオープンした。六甲おろしが流れ、応援グッズを中心に豊富な品揃え。今年のタイガースは、大型補強で金本選手や伊原部選手など新戦力が加わり絶好調。ここで、グッズを買って阪神電車に乗って甲子園にいざ出発。今年こそ優勝だ。

## ★神戸でも30人学級の実現を！ 賛同者を募集中

多くの自治体が、独自に30人学級に踏み出している。昨今、先進文化をいち早く取り入れる神戸が、教育の分野では40人学級のままと立ち遅れており、多人数の学級では画一的な教育を余儀なくされているのが現状だ。神戸でも登校拒否や不登校の子どもが年々増加し、多くの子どもが勉強がわからずにつらい思いをしている。心の中にイライラをため落ち着きが持てなくなっている。子どもたちが発している SOS に応えるため

## 花時計



### 復興10年目への道

イラク戦争の復興計画に日本が参画して行く。

21日間の破壊は、空襲を体験している世代の我々にとって恐怖感を思い起し、独裁から自由を獲得するつらさが身に沁みる。

に、先生がゆとりを持って一人ひとりの子どもの個性と向きあえる教育環境を作ることは、個性溢れる神戸の文化を創造するためにも欠かせないことで、神戸でも30人学級を実現するための市民運動が五月からスタートする。この市民運動は、神戸の文化人・大学教授・医師・弁護士・PTA会長などが呼びかけ人となり、市民から賛同者を募り、それぞれ思いに合わせて市民が自主的に取り組む運動で、事務局を務める全神戸労働組合センター（センター神戸）では、30人学級の必要

神戸のまちは、水害で、又震災、震災のなから、いつも忍耐強く立ち上がった。この忍耐力と、創造力があれば、いつか花咲く道もあるのだ。

3月1日。激震のトアロードから発信したNHK神戸放送局が、復興10年2005年の1月17日に再びNHK神戸放送会館として建設され発信するため起工式が、早春の雨中进行われた8年目の長い道程の嬉しい瞬間だった。

性を訴える冊子「せんせ、こっちむいてよ」（1部300円）を発行。市民が力を合わせて、30人学級の実現へ踏み出して行こう。

■連絡先「神戸でも30人学級の実現を！市民運動」事務局・センター神戸  
神戸市中央区下山手通4丁目6-10  
TEL/FA X 078・391・1909



トアロードまちづくり協議会にとつて、震災復興への待ちに待った日。

「お帰りなさい！」と。

大阪放送局からくらべれば小さいが、キラリと光る発信をトアロード発でやって下さい。この国際的な坂道は、今、いいマンションも建ち、工房のある商店街として、またガーデンングロードとして、一步一步あゆみ続けている。  
復興10年の1月17日が待ち遠しい。  
(M・K)

### ●KOBEPPOST

★兵庫県は3557人の人事異動（4月1日付）を発表した。県民政策部長に井筒紳一郎氏、産業労働部長に江木耕一氏、農林水産部長に黒田進氏、県土整備部長に陸山凌氏、復興総務部長に古西保信氏が起用された。  
★神戸市は係長級以上計1141人の人事異動（4月1日付）を発表した。理事に内山祐周氏、東京事務所長に能勢均氏、環境局長に熊取谷護氏、産業振興局参与に松本明氏、建設局長に村戸靖昭氏、都市計画総務局長に伊賀徳昭氏が就任。「美しいまち神戸」を目指す体制を強化した。

★財団法人兵庫県芸術文化協会の栗原高志氏が3月31日をもって理事長を退任。新たに西野正矩氏が就任された。  
★新神戸オリエンタル劇場の支配人に、高木義昭氏の後任として、後藤新一氏が着任された。

★村上和子さんが3月末でサンテレビを巣立った。これからも「メディア人」として「地域の発展」を常に考え、さらなる活躍を期待する。

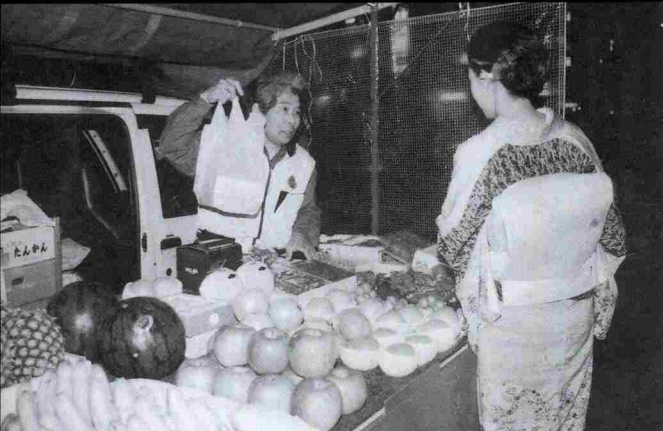
★サロンドあいらりでは5月3日シャノン知月伶生、吉田幸生（D）、11日シャノン玉田さかえ、翔ユリ子、17日ウエスタン諸口あきら、ラテン高橋キョシ、ピアノ小田イタルでライブの予定。いずれも19時スタート。  
★4月4日、南京町商店街復興組合理事長呉信就氏が多臓器不全のため死去（66歳）。

★4月5日、元神戸芸術文化会副議長馬場貴司氏が腎不全のため死去（83歳）。  
★4月13日、神社本庁長老吉田智朗氏が老衰のため死去（95歳）。ご冥福をお祈りいたします。

## ■神戸ひと探訪

# 三宮・夜の果物屋さん 不景気も関係なし！とおいしい笑顔 野間商店・野間慶治さん

夕方5時。三宮にネオンが輝き出す頃、北野坂に果物店が開店する。場所は一流クラブやラウンジが集まるパレ北野坂ビルの前。野間慶治さんが経営する「野間商店」は、夕方車でやって来て店を出す特設店だ。いちご、さくらんぼ、メロン、りんご。大きさ、美しさをとってもその辺のスーパーでは見られない見事なフルーツの数々。



きれいなママたちが買いに来る

「とにかくおいしいものを食べてもらおうと思ってるから、福島、尼崎、神戸中央、いろ

んな市場まわって仕入れているよ。」旬にこだわるのは当たり前。店頭に出回り出す前に、旬を先取りして仕入れている。「裏の旬」といって日本では手に入らない時期はずれのフルーツを、南半球や北半球から取り寄せることも。それらはお客さんの手みやげになったり、



見事なフルーツ。値段は少し高く感じるけれど相応に品がいい

頼まれれば店に卸すことも。この店のでなければ、というファンも多いらしい。

北野坂に店を出して1年。それまでは大阪や神戸の商店街、住宅街などに店を出していた。夜に出店したのは三宮が初めて。常連客を始め、近くで働くママ、ホスト系の若い男の子たちが店の前を通るときにあいさつをしていく。ときには彼らの連絡係になったり、荷物置き場になったりも。気さくな野間さんの顔は広い。「前を通る人にはあいさつするようにしてる。暗い顔して歩いてる人に。不景気やって暗くしてたらどンドン暗くなるだけやしね。声出すことによって変わることもあるかもしれない。ほくらは何もできないけどね、いてじゃまにならん程度に」。おいしいフルーツと、野間さんの人柄が、三宮の夜をより華やかにしている。



野間慶治さん

# 各駅の神戸歴史ウォーク(4)



## 灘駅

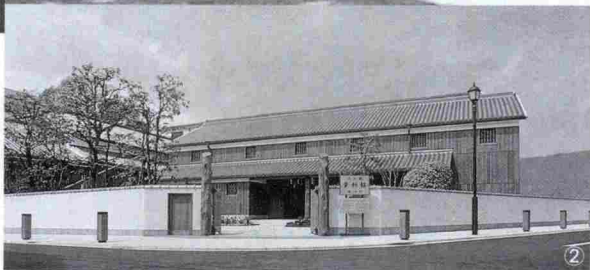
### 敏馬神社をへて 沢の鶴資料館へ 田辺真人

灘という地名は「神戸の」という説明をしないで、全国で通用する神戸の5つの地名の一つだと常々私は言ってきた。国立公園の一面でもある六甲山や、古典文学・歴史の舞台となった須磨や、日本三古湯の一つとされる温泉・有馬や、市域を超えて県名になった古い港まち兵庫とともに、灘は生一本の産地として全国レベルの地名なのである。

神戸にこんな、古い笑い話があった。昔、西の方から大阪に列車で旅する酒好きの男があった。兵庫駅を出ると間もなく神戸駅。おおっ神戸は名酒の産地、次の駅で駅弁と酒でも買おうと考えた。次の駅に着いたので列車の窓から首を出すと、駅員が叫んだ「もっと待てー(元町)」えー、もう一駅待てというのかと考えた。次の駅で駅員の叫び声は「さあ飲めや(三ノ宮)」。それでは、値段はいかほどかと考えている内に列車は出てしまった。次の駅の駅員は「ただ(灘)」。誰が奢ってくれるんだろうと考えていると、次の駅では「わしやー(芦屋)」。ありがたい、どのくらい飲ませ

てくれるだろう。すると次の駅で「二升飲めやー(西ノ宮)」。熱々あつあつなのか冷や酒かと思っていたら「燗酒ー(神崎)」。ほな、いただきましようと思しみに次の駅を待つと「おおさかー、おおさか」と大阪駅についてしまい、結局車内で酒は飲めずじまだった。神崎駅は昭和24年には尼崎駅と改称されたから、この話はそれ以前に作られたものであろうか。

灘の生一本は江戸時代の後半に、灘の風土と幕府の経済政策によって急成長した。幕府は初め年貢米をできるだけ多く徴収するために、米の消費を抑えた。米を消費する酒造りは抑圧された。しかし、参勤交代で旅する武士が宿場での酒を望み、やがて幕府は寛永19年(1642)に街道沿いの都市での酒造りを認め、17世紀後半には、尼崎・西宮・兵庫などの宿場で醸造業が発展する。ことに良質の米と地下水、新しい製法と丹波杜氏の技術に支えられて伊丹や池田が酒どころとして繁栄した。「丹釀」の名で伊丹の酒は称賛された。18世紀初めの赤穂義士が、討ち入り前に丹釀の剣菱で別れの杯を酌み交わしたなどと伝えられるのも、そんな事情が背景にある。18世紀に新田開発や農業技術の向上で米の収穫が増えると、消費を増やして米価を引き上げようとしていた幕府は酒造を認め、酒造家からの営業税をも徴収する。収穫直後の米の値崩れを防ぐためには、冬の酒造り奨励が有効であった。その頃、江戸が人口百万の大消費地となると、江戸送りが各地の物産にとって重要になり、海運の便が産業発展の大切な要素となった。宝暦4年(1754)に酒の勝手作りが認められると、灘の酒造業は本格化した。灘は伊丹などより有利な点があった。江戸送りのための水上交通に直結していたからである。また、古い酒蔵の多くが当時海岸線だった国道43号より浜側に分布していることを考えると、海辺の埋め立て地が酒蔵用地となったことも、灘の有利な条件だったと私は考えている。いずれにせよ、江戸に搬入される酒の中



- ① 敏馬神社
- ② 沢の鶴資料館
- ③ 資料館の道具



## 田辺真人の講演会

### 「端午の節句と七夕の歴史」

5月25日(日) 2:30~4:00

神戸風月堂本店 (元町3丁目ホール)

2、500円 (お茶お菓子付き)

お申込は ☎(078)32115555 風月堂

で、灘酒は天明5年(1785)には4割、文化14年(1817)には5割を越え、幕末には6割を占めたという。このころまで灘の醸造地は西郷と中郷(御影)と東郷(魚崎)の三郷であったが、明治維新のころには東京では灘酒の名声は確固たるものになっていた。そこで、明治19年に撰津灘酒造組合が結成された時には、東方の西宮や今津といった2つの地域の醸造家もこれに加わって、以後、灘五郷と称するようになったのである。

灘駅から国道2号線まで南下して少し東に歩くと、敏馬神社の前に出る。神社の東方・味泥の地は本来は深泥で、深い湿地。さらに以前は入り江であって、それが大輪田伯以前に賑わっていた敏馬の浦なのである。万葉の歌人・田辺福麻呂は「まそ鏡、敏馬の浦は百船の過ぎていくでき浜にあらなくに(多くの船が通過するべきでないー停泊するべき所だ)」と歌った。この港の西の岬の上に航海安全を祈って、敏馬神社が祀られたのであろう。柿本人麻呂の「珠藻刈る敏馬を過ぎて夏草の野島が崎に船近づきぬ」の歌もよく知られている。ここから東方、万葉の伝説をしのばせる西求女塚を経て、沢の鶴資料館まで約20分。沢の鶴資料館では建物も内部の古い酒造用具も県の有形民俗文化財に指定されている。灘酒の歴史について考える最適な場である。

一つ付け加えると、私は灘駅の北側駅舎が好きだ。神戸で唯一、昔の鉄道駅を思い出させる駅舎で、夜間に山側からレトロなガラス窓越しに駅の灯りを見ていると、今にも夜汽車が入ってきそうな気分になってしまふからである。



たなべ まこと

1947年、神戸生まれ。兵庫高校・関西学院大学文学部卒業。現在、園田学園女子大学国際文化学部教授。地域史研究で神戸市文化奨励賞、神戸市文化活動功労賞を受賞。また、ニューヨークランド学会副会長や宝塚市教育委員をもつとめる。「神戸の伝説」・「神戸の100年」・「ニューヨークの風土と生活」など著書・監修多数。

# ご禁制のキューピット登場

## 中右 瑛

岩松院天井画の強烈なショック。高井鴻山のカラクリ屋敷や吊天井の北齋アトリエなど、忍者もどきの仕掛けに、下肝を抜かれ、

「やっぱり、北齋はスパイだったのか？」

の疑問を抱きながら、私は次の訪問先「北齋館」へと向う。「北齋館」は、北齋ゆかりの作品を集めて展示している。

ここでも私は、異常な体験をするはめになる。それは、幕府ご禁制のクリシタン宗教画から写しとったと思われるキューピットが描かれた北齋の絵を見たからである。

「北齋館」の目玉は、なんといっても祭屋台二基。その屋台の天井画にキューピットが登場する。

祭屋台は京都祇園祭と同じく、夏祭のとき、町内に繰り出される通常、山車と呼ばれるもので、疾病などを退散させる行事として、江戸時代に東町と上町に一基ずつ用意されていた。

北齋二度目の来訪、八十五歳の時に描いたとされる東町山車の天井には「龍図」と「鳳凰図」。北齋、八十七歳の三度目に来訪ときには上町の山車の天井画は「男浪」「女浪」といわれる波濤の図で、いずれも百二十五センチ四方の桐板上に極彩色にいろどられ、金箔もふんだんにつかわれている。

「鳳凰図」の八方睨みの力強さと緻密で極彩の賦彩は、あの岩松院天井画と同趣向の構図で、岩松院天井

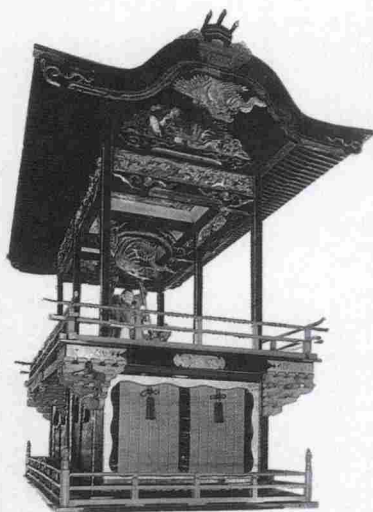
画の二年前の作品。

一方、「男浪」「女浪」の二図は、北齋の名作「富嶽三十六景・神奈川沖浪裏」を彷彿とさせる勇壮、ダイナミックな構成で、加えて波頭が触手となって襲いかかるように見える強烈な迫力は、見る者を圧倒する。まさに北齋ならではの特色を充分に備えた傑作である。

この山車には天井画の他に、北齋デザインと伝わる「水滸伝・皇孫勝」の彫刻が施され、豪華、絢爛、まさに小布施が世に誇る至宝である。

さて、この天井画の細部に注目してみよう。

四角の天井画には、周囲に額縁のように縁取りがなされているが、これは西洋の額縁をまねたもので、北齋のオランダ趣味がうかがわれる。この部分に、草や花や麒麟、孔雀、獅子ら神社でよく見られる神獣など



鴻山の依頼により北齋が天井絵を制作した上町の祭屋台  
(写真は小布施町教育委員会提供)

が描かれ、そのなかの「女浪図」には、ナント！キュービットが描かれているのである。背には大きな羽根をつけ、手に弓矢を持つ可愛い愛のキュービット。なんと愛らしいことではないか。

キュービットは西洋の宗教画ではよく見られるが、浮世絵では例がない。

しかし、北斎のキュービットの容貌は実に日本的である。西洋人の特色であるカールした髪毛ではないし、青い目でもない。日本の童子によくあるヘアスタイルである。

北斎はナゼ？天井画にキュービットを描いたのか。西洋の宗教画をどうして知り得たのか、いまもって不可解である。当時、宗教画



「女浪図」の天井画の一部に登場するキュービット

の一部、キュービットを描くことは、キリシタンご禁制にも触れる重要な事柄であるからだ。後世に難題を投げかける奇抜なアイディアは、ただ者ではない北斎の一面がうかがわれる。

北斎の深いミステリーを抱いたまま、私は「北斎館」を後にしたのだった。

その夜は、信州善光寺周辺の古い日本旅館に泊ることとなった。

善光寺は

「牛に曳かれて善光寺参り」

と、いわれてきたように、古くから日本各地の人たちの崇敬を集めてきた古刹。

寺院檀下に作られたまっ暗闇の回廊を巡る「お戒壇めぐり」は当寺の名物。悪人にとっては地獄めぐりの奈落であり、善人にとっては、仏にめぐり会える極楽回道でもある。善光寺は、いまも善男善女で賑わっている。

宿は、この門前町にある江戸時代からつづく老舗旅館で、時代を感じさせる座敷。こたつや薄暗いランプのような電灯が雰囲気盛りあげる。信州の夜はなんとなく寂しい。

その夜、私は恐ろしい夢を見たのである。鬼のようなキュービットと、大きな怪鳥が私に襲いかかった：のである。北斎画の強烈な印象とすさまじい感動が、私を異常な幻覚の世界に導いたのだった。

信州二日目の夜も、とうとう寝つけぬまま朝を迎えた。



上町祭屋台の天井絵「女浪図」

■中右 瑛（なかう・えい）

抽象画家。浮世絵・夢二エッセイスト。一九三四年生まれ、神戸市在住。行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵内山賞受賞。半どん現代美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受賞。現在、行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事。著書多数